

第37回共同連北海道大会 INさっぽろ



きらない、
わけない、
ともに
はたらく。

2022年11月12日（土）10：00～16：30

会場／TKP札幌駅カンファレンスセンター・オンラインZOOMウェビナー

会場定員／道内40名・道外60名／参加費1,000円・交流会費4,000円

「労働者協同組合法から社会的協同組合を展望する」

2019年の愛知大会で共同連は社会的協同組合の実現を運動目標として明確化しました。
わが国では社会的協同組合の前提条件ともいえる働く人による協同組合が根付いてこなかった中、
ようやく2022年10月1日に労働者協同組合法が施行されることになりました。
大会を通して労働者協同組合から社会的協同組合への道筋の第一歩を踏み出します。

時間	プログラム
9：30	開 場
10：00	開 会 挨 拶
10：15	記念講演 「日本型社会的協同組合への展望」 ～イタリアの事例をもとに～（仮） 田中 夏子
11：45	昼 休 憩
13：00	分 科 会
15：00	休 憩
15：20	シンポジウム
16：25	閉 会 挨 拶
16：30	閉 会 ・ 交 流 会 18：00～

●分科会1 「今しか聞けない！共同連～How to～」

1981年の結成以来、共同連が大切にしてきたことはなにか。
共同連について参加者から質問・疑問を集めて共同連代表が答えます。

～登壇者～

- NPO法人共同連 代表 斎藤縣三

●分科会2 「ともに働く」

多様性や共にというワードが、働く業界や場面を問わず広がっています。
障害の有無や運営面の制度等、共に働く実態もさまざまです。そ
の中でこれからの共に働くを考える上で、現状をお聞きしながら理解
を深めていきましょう。

～登壇者～

- NPO法人ワーカーズコープ北海道事業本部 石本依子
- NPO法人旭川NPOサポートセンター 森田裕子
- NPO法人わくわくかん 若畑省二
- NPO法人シゴトシンク北海道 下斗米貴行

●分科会3 「地域で暮らす」

制度等の決められた枠の中ではなく、一人一人の豊かな暮らしがで
きるよう支え合うにはどうしたら良いか。多様な暮らしの活動紹介
の実践例から改めて考えたい。

～登壇者～

- NPO法人コミュニティーワーク研究実践センター 穴澤義晴
- 社会福祉法人くまもと障害者労働センター 野尻健司
- NPO法人りあん 地域生活サポートセンターじゅぷ
- NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ 西田大作

大会の詳細及び申し込みに関してましては、9月に入ってから
共同連HPにてご案内いたします。「NPO法人共同連」<https://kyodoren.org>

